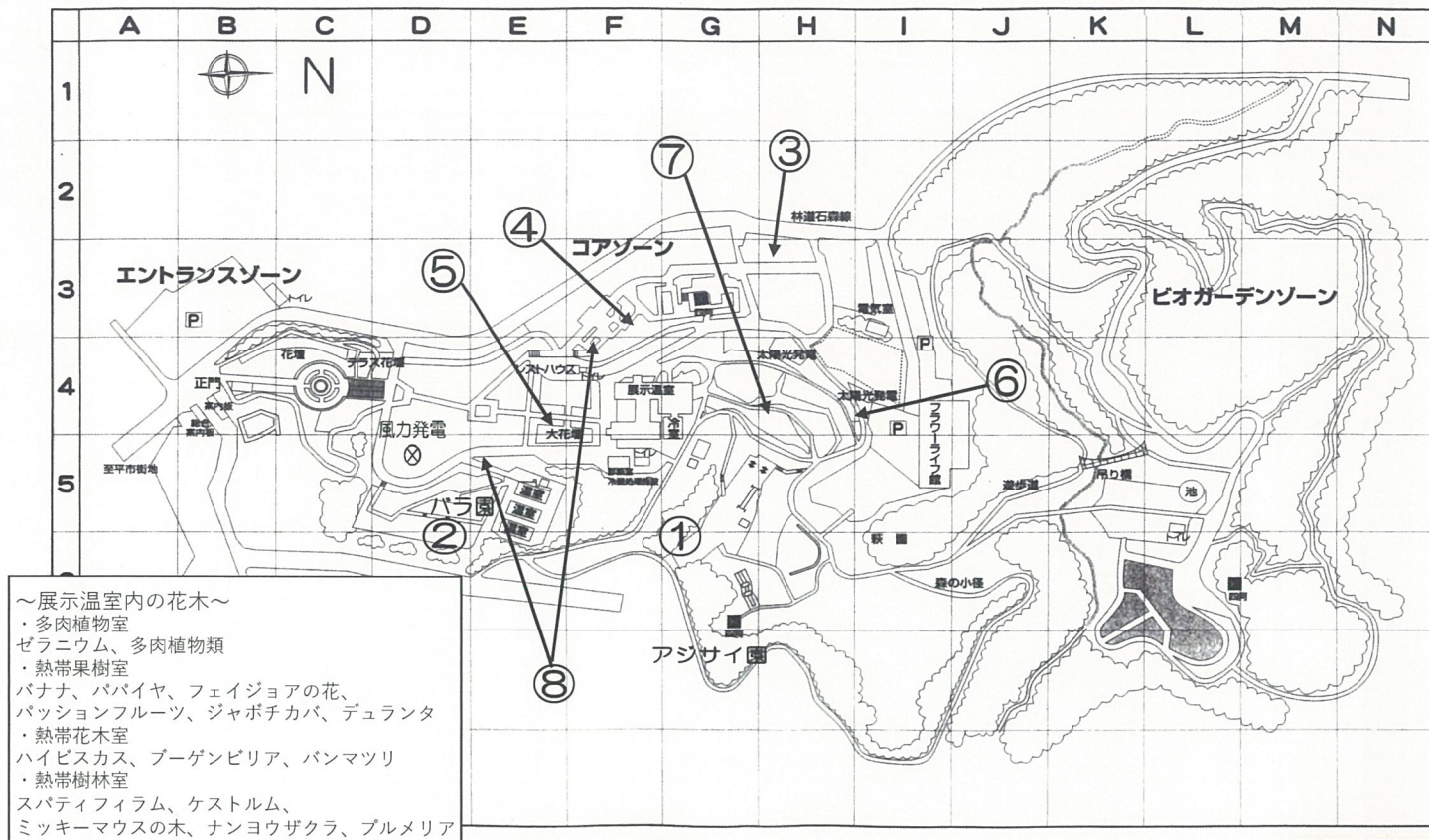


# フラワーセンター【6月の花】

2019年度

※園内の植物の盗難が相次いでいます。  
園内の植物は絶対にとらないでください。



## ①アジサイ (子供の広場の東側アジサイ園)



ユキノシタ科 落葉低木 原産：日本  
 6～7月にピンク、白、紫、青などの花を咲かせます。一般に花と言われている部分は装飾花で、本来の花はその中心部で小さく目立ちません。花の色は、土壌が酸性なら青、アルカリ性なら赤の花が咲くと言われていています。  
 ※園内のアジサイは今年は6月中旬頃が見頃の予想です。

## ②バラ (風力発電の東側バラ園)



バラ科 落葉低木 原産：北半球各地  
 “花の女王”として絶大な人気を誇るバラは、花の美しさ、香りの豊かさで、その名にふさわしい風格と気品があります。日本の自生種、ノイバラやサンショウバラなどは、優秀な交配親として重要視されている種類です。

## ③ラベンダー (イングリッシュガーデン)



シソ科 常緑低木 原産：地中海沿岸  
 数あるハーブのなかでも最も人気の高いのがラベンダーです。鮮やかな紫色と心地よい香りが魅力のハーブです。木本性ですが、草花として扱われることが多く、花壇の植え込みやコンテナ栽培などで楽しまれています。  
 ※園内のラベンダーは6月初旬に開花の予想です。

## ④ギョリュウバイ (イングリッシュガーデン)



フトモモ科 常緑低木 原産：ニュージーランド・オーストラリア  
 葉は長さ7～20mmの細い披針形、または先の尖った卵形で、互生します。  
 枝は分枝しながら密に茂り、樹高2m程度に成長します。ギョリュウバイの名前は、ギョリュウのように小さな葉を持ち、梅に似た花を咲かせることに由来しています。

## ⑤ベゴニア (大花壇)



シュウカイドウ科 多年草 原産：熱帯、亜熱帯地域  
 多年草で中には多肉的な木質になる茎をもつ品種もあります。なかでも四季咲きベゴニアはベゴニア・センパフローレンスともいい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせられた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート形の花弁が愛らしく人気があります。  
 ※一般的には秋には枯れる一年草扱いの植物です。

## ⑥タイサンボク (フラワーライフ館前駐車場脇の園路沿い)



モクレン科 常緑高木 原産：アメリカ  
 6月頃に花径15cmほどの白い花を咲かせ、高さは10～20mくらいになります。漢字で“泰山木”と書くので中国原産のイメージがありますが、実は原産地はアメリカです。花も大きいですが葉も大きく、20cmくらいあります。

## ⑦トウオガタマ (展示温室とフラワーライフ館の間の通路)



モクレン科 常緑低木 原産：中国南部  
 花の直径は3cmくらいで花びらは厚くクリーム色、フチがほんのり紅紫色を帯びることもあります。花には完熟バナナをすっきりさせたような芳香があり、その甘い香りがこの木の特徴で大きな魅力です。香りには人それぞれ好みがあると思いますが、甘ったるさがさほどきつくない、嫌みのない香りです。

## ⑧ヘメロカリス



(風力東側通路・イングリッシュガーデン内他)  
 ユリ科 多年草 原産：園芸品種(東南アジア)  
 日本原産のキスゲなどから欧米で改良されたとても丈夫な花です。形よくきれいに咲いた花は日本一ですが、花時が長く次々と咲かせてくれます。